



記念植樹をされる細川熊本県知事

津 奈 木

前は乃西

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦 北 郡 津 奈 木 町
電 話 (78) 3111 代
印刷所 旭 印 刷
電 話 (水 俣) 64101 番

去る二月十五日。

千拓で「くまもと緑の三倍増」に基づき、「ふるさとの森植樹祭」が行なわれました。

細川知事が「この森を地域の特色を生

かぐわしの里津奈木

少年少女諸君！目覚めよ
無限の力を発揮しよう

去る二月十五日「緑と彫刻のある町づくり」のシンポジウムの反省をしてみたい。

あのときの四人のパネラーのお話は、ある先生は「彫刻を創る住民に、ある先生は彫刻家の集まる町に、ある先生は彫刻を見る住民にと御注文はなかなか難かしいものばかりであった。

そして筆者は勝手知りつつも、津奈木のことを少し



宣言文を読みあげる左から(津小)川野... 宏(赤小)上村美幸(平小)浜田美和さん



「ふるさとの森」記念碑

一言

「役」が年と共に

三、四月は各種団体の役員改選の時期で、次年度の活動を左右する役員選出は関係者にとっては頭の痛いことでしょう。

「年と共にいろんな「役」が回ってくる」と話してくれた先輩を思い出す、就任にあたっては直接的なメリットを期待せず、間接的なメリット、つまり組織活動を通して自分自身の知識の向上を図り、地域のためにどれだけ還元するかに意義があると付け加えてくれた。任期は一年とあるが但し書により一年が二年となり、二年が三年四年となるのが現状で、組織の活性化に向けて精いっぱい努力が長期になるにつれ、熱意は薄れ活動は鈍くなり、旧年の事業計画を消化しただけの結果に終わってしまう。要は「役」からいつ退くかを考えることも組織の活性化に結びつくことを忘れてはならないと思います。

平国校区強し・三連覇

第七回B&G母子ビーチボール大会

優勝・合串、二位・平国下、三位・浜崎・日添

第七回B&G母子ビーチボール大会が、去る二月二十五日から二十六日までの二日間、十四チームが参加して、B&G海洋センター体育館で行なわれた。

この大会は、母と子が一緒にスポーツに親しみ、ふれあいを深め健康的な家庭と、体力づくりを図ることを目的に、毎年開催されている。

本年度の大会より、今までのルールを一部改正し、過去の大会では、取得セットで勝負を決めていたのが、本大会より、3セットの得点の多いチームを勝ちとするようになった。

そのため、2セット勝ったからと油断をしていると、第3セットで大逆転という試合も2、3見られ、最後までどちらが勝つか、わからず、一点ごとに応援席より大歓声があり、過去の大会より一段と盛り上がりつつあった。

大会第一日目は、開会式の後、組合せ抽選を行い、各コート二回戦までを消化した。

この日は、二連覇を狙う平国上が福岡と対戦、新ルールのため、2セットをとったものの、得点が一点差で一回戦敗退となった。第一日目の結果、日添、合串、

平国下、浜崎が、準決勝へと駒を進めた。

さて、大会二日目は、前日勝ち残った四チームによる、準決勝と決勝戦が行なわれた。

この日は何と云っても、平国校区のチームの強さが目を引いた。昨年は、一位・二位を独占し、また過去の二年間、同校区のチームが優勝しており、今年もベスト4に平国下、合串が残っていた。浜崎、日添の奮起を期待したが、平国校区チームのパワーとチームワークに圧倒され、今年も平国校区同士の決勝となった。

さて、決勝戦は第一セットから白熱し、ジュースを8回繰返したすえに、23対21で、第二セットも第一セットの勢いを保持した平国下が15対11で連取し、勝負あったかと思えた。

ところが、ここでまた、新ルールによる明暗が分かれた。シーソーゲームとなった第三セットは、中盤をむかえ、9対7で合串がリード、しかし平国下は、あと2点で優勝である。だが、ここから合串が底力を発揮、平国下に点を与えず、ついに15対8で第三セットをとり、一点差の大逆転優勝を飾った。



この結果、優勝・合串、二位・平国下、三位・浜崎、日添と昨年に続き平国校区が一、二位を独占し幕を閉じた。

町民健康づくりゲートボール大会

去る三月十一日、上下門ゲートボール場において、「町民健康づくりゲートボール大会」が行なわれた。

この大会は、老人の健康づくり、地区の交流、新しいゲートボールの掘り起こしを目的に、大字千代、津奈木の各地区より10チームが参加して行なわれた。

午前九時三十分より競技が開始されたが、日頃行なわれている大

スポーツするなら スポーツ傷害保険

現在加入されているスポーツ傷害保険の有効期限が、三月三十一日で切れます。四月一日からの活動は、対象外となりますので、新たに加入しなければなりません。この保険は、傷害保険と賠償責任保険をくみ合わせた保険で、割安な保険料で充実した補償内容です。63年度の保険料は、一、〇五〇円です。加入依頼書はすでに各地区の代表者宅へ配布されており、早めにご記入のうえ、早目に自から進んで加入して下さい。なお、詳しい内容については、教育委員会までお問い合わせ下さい。

表 I

区 分	保 険 料 (年間)	傷害保険の保険金額			賠償責任保険の てん補限度額	
		死亡・ 後遺障害 保険 金額	入院保険 金額	通院保険 金額	身体 賠償 1 事故 につき	財物 賠償 1 事故 につき
1 種	A	350円	1,200万円	3,800円	1,200円	5,000万円 (免責金額 1,000円)
	B	600円				
	C	1,050円				

産業祭や緑と彫刻のある町づくりのシンポジウムについて一括して感想を述べる。彫刻のある町づくりに一歩でも進めるために思いついたこと。○年令別(小学校・中学校・一般)○種別(彫刻・絵)○方法(審査種別毎に一点)額やケースに入れて展示、一年に一回入れ替え展示。〔文化協会主催〕○産業祭は三年に一回だから、毎年開催するのは、年一回開く、授賞もその都度。○特に必要があれば表彰する。例えば町の発展に寄与したもの。町の名を挙げた者には：○名伯楽がおらぬから名馬が出ぬのである。津奈木に善人が多かったのは名伯楽の首長がいたからである。

以上はまだことに幼稚な発想である。これを完全なものにするには町民全部の知恵を借らなければならぬ。要は町民が町の産業文化の発展に寄与した人を表彰するか否か問題である。





県外研修
(年1回実施しています)

今、何をしていますか？

友人が沢山できましたか？若い仲間と青春に挑戦しようではありませんか！

今日、我々青年団がおかれている立場は、非常に苦しいところがあります。その中の一つは、団員数が減少していく傾向にあることです。それはやはり、新入団員が入ってこないという事が原因なのだと思います。仮に「どうやうやう年に入ってみらんや」と聞くとほとんどの人が「私はいいぞ」と答えます。では「何故？」と聞くと、「いそがしい」「集団で行動するのがいやだ」「見知らぬ人と話したりするのはいや」「あけく果てには、親が入らなくてよかかった」といふ。青年団という未知の世界に入ることには不安があると思ひます。

若し人に尋ねたい。あなたは、仕事の終えた自由な時間をしてい



青年学級(料理実習)

ますか？たぶんテレビや意味もないことを使ってませんか？学校の代り友人や職場の人以外に、友人は出来たか？このまま漠然と生きていいと考えていますか？結構あなたの身近な所に楽しい所があるんです。お父さんお母さんにお話ししたい。息子さんや娘さんの背中を少しだけ押し付けてあげないでしうか。昔、学校に入

冷えしきる朝明けに見る汐けむりもやう海面に光は射し入りぬ一日を寒風吊す手作業の素朴さにいて満ちたりし夕

短歌

宮崎 優選

遠き日の孤独の吾もいつしかに三十余人も子、孫かぞゆる雨の日は細くくのもやめて妻に灸すえもい身体いとしむ

熊本の士族たち
宝暦の改革で有名な細川家六代藩主重賢によって、城内二の丸に、朱子学を中心とする藩校時習館が設立されたのは、宝暦四年(一七五四)である。以後、肥後は文教の藩として学問が盛んとなり、この時習館から多くの英才が育っている。この時習館に入学できるのは、士族の身分に限られていて、後に藩政の要職は時習館出身者によって占められるようになった。時習館の学風は、字句や文章の意義を解釈することを主とする訓

西南戦争 六

岡本 秋徳

諸国で一揆が統発した。大阪では大坂城へ攻め入り城内や金持の倉の米や金銀を奪い、貧民に分配しようとしたところが大塩平八郎の乱も起つたりした大飢饉の時であつた。藩の下級武士の生活も極度に困窮の状態にあつた。小楠は政治の改革を叫んだのでからはこれに傾倒した。家老の長岡監物をはじめ、上士から下士にわたる広範な層からの支持者も多くなり、藩の主流派も無視できないほどに成長していった。この一派を実学党という。支配層からみれば小楠は危険人物であり、小楠を警戒し圧迫したのは当然であるが、長岡ら藩の重要ポストにある実学党の上層武士もその役職を罷免されたのである。同時に藩主流派は団結し、時習館

肥後狂句

堀 双岳選

し添寝にたわむれ居りぬ
合羽着て玉ネギ補植続けゆく背に降る雨の冷たき夕
倉下の花壇に白き雪柳返り咲き見ゆ粉雪のごとし

明日を拓く

津奈木町産業祭

町の活性化を願って、第五回産業祭が二月十三・十四日盛大に開催されました。

津木町B&G海洋センター



B & G体育館内に展示されたミカン (S63. 2. 13~14) 皆さんミカンを食べましょう

三年ぶりに開催された産業祭、町の活性化を願って「果樹部門・普通作物部門・特作部門・農具部門・畜産部門・水産部門・商工部門・森林部門・郷土文化部門・民芸及び生活改善部門・バザー・青年館」とそれぞれ部門別に立派な作品等が展示されました。

高齢者役割向上対策事業

地域を動かす高齢者パワー

高齢者の方々が続いている豊富な経験と知恵や技術をもつと地域の生産や生活の場に生かしてもらい、更に地区住民全員で豊かな暮らしづくりを目指す。県北農業改良普及所が倉谷、内野、上下門で推進しました農村高齢者役割向上対策事業は三月にて三ヶ年間の活動を終了しました。



成果発表中の林田さん

又花いっぱい運動や公園横の花壇づくり、子供会と一緒に美化作業、町花「つわぶき」の植えつけは地区の環境美化だけでなく、心の美化、郷土愛をも育んだのではないでしようか。

高齢化は日本、特に農村部にて急速に進んでいます。この三地区の活動が更に展開され、高齢者の生き方のモデルとなつていただきたいと思ひます。



す。なお、民芸生活改善の部では、老人会・婦人会・生活改善グループ・農協婦人部・県北農業改良普及所・平国小学校児童等の力作が展示され大変好評でした。



お母さん良くわからないよ！どれどれ

倉谷公民館(木戸孝先生の講話)